

二 嘘風弄月

原曲：蟲々秋月 ↗ Mooned Insect

桜花之恋塚 ↗ Flower of Japan

ひび割れ 岩陰 枯葉の中

陽だまりの裏で蠢くモーター

爪先群がり這い上がる

形は不気味でも合理求めた未来です

今日もまた風に揺れる花の良い匂い

一途に拾う鳥のようになれない

だから頼つて縋つて寄りかかっても良いかい

地に蒔き根を張り立ち眩み

誘われ薔に息づく亡者

暗がり ツギハギ 散り積もる

寝起きは鈍くてもいつの日か咲き誇るんです

今日もまた蜜を運ぶ蜂や蝶の舞い
側に広がる虹色にはなれない

だけど飾つて守つて囁く

通り雨 宿る葉の陰 月の道は遙か

飛んで向かつてくれつて無茶を言つても良いかい

声を 指を かける君
口が 酔いが 回るなら

この翅汚し彼方の同胞へ安らぎと潤いを
はらから

花の良い匂い ひどく焦がれる

森のように果てない夜を謳つて笑つて

煌めく能天氣

思うがままに弾み付けて飛ぶよ

拍手を クラップ クラップ クラップ

はなま 韶かせてよ 混ざれ

天と地の間彩る虹色にも負けない

ずっと繋いで巡つて繰り返す

篝星 望む葉の影 月の道を照らせ

明日を焦らして踊つて夢で会おうよ